

一步上 / のステージへ!

大学院生向け

高度教養 モジュール

令和7年度
開始!



制度の概要

大阪大学高度教養モジュール（以下「モジュール」という）とは、あるテーマのもとに組み合わせられた科目群を指します。モジュールの概要は以下のとおりです。

- ①モジュールは2科目以上、2～4単位で構成されます。
- ②モジュールの構成科目はすべて大学院科目です。学部生は履修できません。
- ③構成科目の単位をすべて修得することを、「モジュール修得」と呼びます。モジュール提供部局等とは異なる他部局等の学生がモジュール構成科目をすべて修得することがモジュール修得の条件です。モジュール内に1科目でも所属部局等の科目があれば、当該部局等の学生はモジュールとしての履修はできません。
- ④モジュール修得に必要な科目と、大学院副専攻プログラム及び大学院等高度副プログラムの修了に必要な科目との重複取得は認められません。



導入の目的

従来の大学院副専攻プログラムや大学院等高度副プログラムより要件単位数を減らしつつ、科目間に関連付けを持たせる科目群制度として高度教養モジュールを創設しました。



受講のメリット

- 副専攻プログラム・高度副プログラムへの第一ステップ
まずは比較的習得しやすいモジュール科目を履修し、さらに体系的に学ぶために副専攻プログラムや高度副プログラムへチャレンジする第一ステップになります。
- 異分野で出会う学びと可能性
異分野に触れ、自身の専門に還元することで、より深い理解を得ることができます。これまでに気づかなかった新たな興味や自分の強みを発見し、自己成長やキャリアの方向性を見つめ直す良い機会にもなります。
- 他分野の学生との交流
異なる専攻の学生と一緒に学ぶことで、多様な視点や意見に触れることができます。これにより、将来のキャリアで役立つコミュニケーションや協働力が身につきます。

副専攻・高度副プログラムとの比較

	高度教養モジュール	大学院副専攻プログラム／大学院等高度副プログラム
単位数	2～4単位	副専攻PG: 14単位以上／高度副PG: 5～13単位
単位の修得方法	全科目必修	必修・選択必修・選択科目
履修対象	モジュール開講部局以外の部局等に所属する大学院生	全部局の大学院生／6年制の学部5・6年次生(単一部局が開講するCategory 2:C2(5～6単位)のプログラムは除く)



履修方法 ・ 受講手続き

KOAN からモジュールを登録後、
科目の履修登録が必要です。



POINT

- 自身の授業計画・研究計画に大きな影響を与えずに、気軽に履修できます。
- 高度教養モジュールで修得した科目のうち、副専攻・高度副プログラムと重なる構成科目については、既修得単位として扱えます。(副専攻・高度副プログラムと連携した高度教養モジュールに限ります。)→副専攻・高度副プログラムへの足掛かりとなります。

受講申請/科目の履修登録期間

4/9(水) 15:00 ~ 4/17(木) 13:00

※一部のプログラムは秋学期申請も可能です。

秋学期	9/24(水) 13:00~
履修登録期間	10/8(水) 13:00

FAQ

高度教養モジュールの履修資格はありますか？



モジュールの履修資格は、大阪大学大学院学生です。特別聴講学生、科目等履修生は含みません。

高度教養モジュールは、一覧に記載の10モジュールのみでしょうか？



令和7年度開講モジュールは一覧に記載の通りとなりますが、令和8年度以降新たなモジュール提供が研究科等からあれば、今後増えることが見込まれます。

高度教養モジュールの構成科目に、既に単位を修得した講義が含まれます。その場合はどのような扱いになりますか？



モジュールで定める授業科目をモジュールの履修申請以前に既に修得している場合は、その単位はモジュールの修得要件単位として認定されます。

複数の高度教養モジュールの履修は可能ですか？



はい、可能です。ご自身の授業計画や研究計画を鑑みて、ぜひ積極的に受講してください。

モジュール一覧

	モジュール名称	修了要件 単位数	履修 対象者	構成科目
1	医学倫理・研究ガバナンス プログラム	4	M・D	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフサイエンスの倫理と公共政策学 ● 医療倫理概論 ● 医学研究倫理総論
2	社会を支えるエネルギー 変換の基礎と応用	4	M	<ul style="list-style-type: none"> ● 燃焼工学 ● 反応輸送現象論
3	博物館の実務で学ぶ、 学術と社会の接点	2	M・D	<ul style="list-style-type: none"> ● 博物館資料保存実務 ● 博物館資料公開実務
4	次世代型修士・博士人材の ための学際的探究	4	M・D	<ul style="list-style-type: none"> ● 大阪大学版 大学院での新しい学び方 ー学際と社会関与をデザインするー ● 研究方法とアウトリーチのデザイン
5	科学と社会の関係と 歴史・哲学を知ろう	2	M・D	<ul style="list-style-type: none"> ● 科学技術社会論入門 ● 科学史・科学哲学入門
6	コミュニケーション実践の ノウハウを身につけよう	2	M・D	<ul style="list-style-type: none"> ● ファシリテーション入門 ● 実践者から学ぶ科学技術コミュニケーション
7	イノベーションと公共政策に ついて考えてみよう	2	M・D	<ul style="list-style-type: none"> ● 科学技術と公共政策A ● 科学技術と公共政策B
8	事例を通してELSIの基礎を 学ぼう	2	M・D	<ul style="list-style-type: none"> ● 倫理的・法的・社会的課題(ELSI)入門:理論編 ● 倫理的・法的・社会的課題(ELSI)入門:実践編
9	感性と表現力を育もう	2	M・D	<ul style="list-style-type: none"> ● 身体表現術 ● 感性表現術B
10	対話の基礎を身につけよう	3	M・D	<ul style="list-style-type: none"> ● 対話術A(対話による探究入門) ● ファシリテーション入門

問い合わせ先

大学院教育改革推進室教育支援係

✉ mirai-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp 🏠 <https://itgp.osaka-u.ac.jp>

プログラムの
詳細はこちら

